

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	対象学年	2 年
講義日	令和8年 10 月 14 日(水)		
テーマ	映画音楽史～映画における音楽の歴史・機能・伝統的なスタイルについて～		
講 師	神戸大学大学院 博士後期課程 肥山紗智子		
講義内容			
キーワード： 映画音楽の歴史・機能・分類、ミュージカル映画の歴史・スタイルの継承と変遷			
第1回 映画音楽史			
① サイレント映画時代の音楽 －音楽の必要性			
② トーキー黎明期の音楽			
③ シンフォニック・スコア時代の産物			
④ 映画の音／音楽の分類 －映画の音／音楽による多様な表現			
第2回 ミュージカル映画			
① サイレント映画時代の音楽映画			
② 歌うことの不自然さからの解放			
③ ミュージカルの「映画」化を追求した人々			
④ スタイルの継承と変化			
この講義では、基本的に音楽を映像から切り離さず、映像との関係性について解説する			
講師からのメッセージ			
本講義では、1920～50 年代の映画、特にアメリカ映画を中心に扱いますが、そのような古典的な音楽（音響）演出の技法が、それ以後の作品でどのように継承されているのかについても触れたいと思います。皆様が現在の映画とその音楽も、より面白く鑑賞できるような内容になるよう努めます。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	対象学年	全学年
講義日	令和8年9月3日(木)・9月10日(木)		
テーマ	合唱の楽しさを味わおう		
講 師	合唱指揮者 兵庫県合唱連盟副会長 矢田 正一		
講義内容			
1. 目標 合唱の楽しみ方は2人から大人数までいろいろな形態がありますが、シルバーカレッジでは全学年の大人数学生による合唱の楽しさを体験していただきます。 多くの人の声を重ねて表現する合唱が、生きる喜びにつながるようにと期待しています。 2. 内容 基礎理論の理解 読譜力、固定ド唱法と移動ド唱法 日本における合唱の黎明期 発声の基礎 美しい声と声量 効果的な発声による歌唱力を身に着ける ハーモニーの理解 表現力を高める合唱への挑戦 生涯忘れられない名曲の合唱版 3. 名曲を合唱で 表現なくして成り立たない音楽のすばらしさを、名曲に乗せて楽しく体験しましょう。			
講師からのメッセージ			
大きな声量で歌えば、健康に良いことがよく知られています。同時に腹筋を鍛えて歌うことで、寿命が延びることを実感しましょう。さらに表情豊かに歌う喜びを体験するとともに、声を重ねる合唱の楽しさを存分に味わいましょう。			

(令和8年度)

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	音楽文化 専攻	対象学年	2年
講義日	令和 8 年 9月 2 日(水)		
テーマ	20世紀の音楽Ⅰ		
講 師	神戸学院大学人文学部 教授 宇野文夫		
講義内容			
クラシック音楽をルーツとする西洋の芸術音楽は、20世紀以降その様相を大きく変化させていきました。それは、芸術家を取り巻く世界の大きな変化が、芸術の表現にも大きな影響を与えたためと言えるでしょう。音楽ではクラシックを支えていた理念(ものの感じ方、考え方)が、時代や社会の変化により新しい時代の創作を支えるものではなくなっていきました。そして作曲家達は新たに、時代に相応しい表現を模索していきます。この「20世紀の音楽Ⅰ」では、19世紀から20世紀にかけて活躍した作曲家達を取り上げ、クラシックとは異なる新しい創作表現の軌跡を辿ります。交響曲と歌曲のグスタフ・マーラー、印象主義のクロード・ドビュッシー、無調から12音技法に進んだアルノルト・シェーンベルクとその弟子であるアルバン・ベルクとアントン・フォン・ウェーベルン、アメリカの実験音楽の祖チャールズ・アイヴズ、原始的な舞踊音楽で知られるイゴール・ストラヴィンスキーといった作曲家達を中心に、紹介し解説していきます。			
講師からのメッセージ			
クラシックのような音楽が20世紀に入ってから作られず、なぜ作曲家達は新しい表現を志向してきたのか、一緒に考えてみたいと思います。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	2年
講義日	令和8年 4 月 15 日(水)		
テーマ	唱歌と童謡		
講 師	大阪芸術大学教授 吉良武志		
講義内容			
わが国の唱歌や童謡はどのように誕生したのでしょうか。 明治期、学校教育の中に教科「唱歌」として音楽を取り入れた経緯を概観することから始め、「言文一致唱歌」「童謡運動」、戦後の「新しい子どもの歌」と辿っていきます。 歴史を学習するだけでなく、その時代に歌われた歌をみんなで歌いながら、音楽文化の流れを感じ取っていただきたいと思います 後半には、小学校の音楽教科書の中から、講義時期に合わせた教材を扱って参ります。 I. 音楽の伝来 II. 唱歌の誕生 ・学制 ・伊澤修二の留学 ・メーソン先生との出会い ・音楽取調掛 ・「小学唱歌集」 III. 教育の場に来た世界の民謡 IV. 新しい歌の台頭 ・言文一致唱歌 ・滝廉太郎 ・月刊雑誌『赤い鳥』と童謡運動 ・ラジオとレコード V. 戦後、子どもの歌の新生 ・『鐘の鳴る丘』(連続放送劇) ・放送番組の変化			
講師からのメッセージ			
前述の通り、歌いながら講義内容を感じ取っていただきたいと思います。 音楽のない民族はありません。(厳密には楽器を持たない民族はいますが、歌のない民族は存在しません)			